

まちパシャ！スペシャル

まちなか探索隊レポート



日時 平成18年10月15日(日)・10月18日(水)
会場 アルヴェ 3F市民交流サロン
主催 秋田市民交流プラザ管理室



10月15日「まちあるき編」のプログラム

- 10:00 インフォメーション ゲスト紹介
ゲストのごあいさつ
- 10:10 参加者自己紹介
- 10:25 探索の説明
グループでの役割分担
- 10:30 **まちなか探索**スタート
- 12:30 探索終了
～きりたんぼ鍋の昼食と休けい～
- 13:30 **探索まとめのワークショップ**
- 14:30 グループ発表
- 14:50 ゲストからのコメント
- 15:00 終了



まちなか探索では…

普段見慣れているまちを、テーマを持っていつもとは違った視点で歩く、まちづくりワークショップの手法の一つがまちなか探索です。グループでまちなかを歩き、まちの良いところ・魅力的なところ・お気に入りの場所などを発見し、写真に撮ったりカードに記録していきました。



探索まとめのワークショップでは…

まちあるきで撮影した写真や気になるところをメモした記録カードを貼り付けて、グループごとにマップづくりをしました。そして、できたマップから浮かび上がってきた「まちづくりのテーマ」を各グループで決定し、マップを使って発表しました。



10月18日「語り合い編」のプログラム

- 19:00 インフォメーション 前回のふりかえり
- 19:05 ゲストによるレクチャー：秋田市のまちづくり
(ゲスト：秋田市都市整備部長 中澤篤志 氏)
- 19:35 まちづくり提案のワークショップ
(**まちづくり提案シート**づくり)
- 20:25 グループ発表
- 20:45 ゲストからの講評
- 21:00 終了 アンケートの記入



まちづくり提案シートづくりでは…

まちなか探索で発見したまちの魅力などからテーマを決め、それぞれに想う「10年後のこのまちをこんなふうにしたい！」というまちづくり提案を記入。そして提案実現のために各個人ができる役割を記入してシートを完成させました。



～各グループの発表ではさまざまなまちづくり提案がだされました～

Aグループ(駅前 手形陸橋コース)

「自然を生かした散歩して発見ある・歩いてみたくなるまちづくり」をテーマにしたAグループ。まちあるきでは、駅前でありながら自然が多く、ノスタルジックな気分になれる空間があることなどを発見し、より歩きやすいまちにするためには、携帯で情報が入手できるような看板やまちのイベント情報パネルなどを設置するといった提案がだされました！

Bグループ(駅前 明田地下道コース)

「なじみの街～Allways中通の朝日～」をテーマにし、まちあるきでは、歌える民謡会館・卸問屋通り・昔からの路地などを発見したBグループ。「古きよき秋田の人情味のある街」を残すために、自ら歩いてなじみの店をつくったり、地域の人たちと顔なじみになるなど自分たちが地域にとけこんでいくことからまちづくりに関わりたいといった提案がだされました！

Cグループ(お堀 中央地区コース)

「歩いて楽しいまち」をテーマにしたCグループ。空き地を「フリースペース」と呼ぶというポジティブな発想で、フリースペースをイベント広場に変え、自分たちでイベントの企画者や参加者としてかかわってまちを楽しんでいくことで理想のまちづくりの実現したいと提案がだされました！

Dグループ(駅東コース)

「自分たちで作っていく街」をテーマにしたDグループ。通りや公園に勝手に名前をつけて愛着をもつ、住んでいる人自身で街づくりのルールを決める、まちづくりに関心を持ち続けるなど、自分たちのまちへの愛情がまちを便利で住みやすいものに変えていけるとの提案がだされました！

今回のまちパシャ！スペシャル～まちなか探索隊～では、秋晴れのもと行った「まちあるき編」、そしてまちづくり提案をまとめた「語り合い編」と、両日とも短い時間でしたが、各グループからはさまざまなまちづくり提案をしていただきました。そして参加者からは、「まちづくりに興味をもった」「発見がいろいろあり、とても楽しかった」といううれしい声も聞くことができました。今後もこのような講座を通し、ひとりでも多くの市民のみなさんに、秋田のまちづくりに関心を持って、まちづくり活動に取り組んでいただければと思います！～探索隊スタッフ一同～